



シルバーだより

No. 368
令和3年9月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— コロナ禍の「歴史散歩教室」とは? —

今と昔の歴史散歩教室講師 加藤 純成

7月12日から4度目のコロナ緊急事態宣言が出された。そうすると、外に出かける「歴史散歩」としては、いろいろと気をつけなければならない。何しろ「不要不急の外出」を控えるように・・・と言われるのだから。しかし我々のやっていることは、決して不要不急のものでは無い。必要なものだ・・・それでも、コロナ対策はしなければならない。

- ・バスに乗って、道の駅に立ち寄りながら、みんなで楽しく1日お出かけ・・・
- ・電車で少し遠出をして、博物館や資料館を見学する・・・

これらが、できない。我々に求められるのは、「近い・短い・外で」だ。そうすると、我々に残されたものは、「お墓」「お寺・神社」「外にある物」しかない・・・



そこで、6月25日は「築地本願寺・かちどき橋」、7月16日は、「雑司が谷霊園・宣教師館」へと出かけました。雑司ヶ谷霊園には、「大川橋蔵・夏目漱石・小泉八雲」など有名人のお墓がありました。

日本で初めての女医さん「荻野吟子さん」のお墓には立派な白い像が立っていました

(写真)。美人さんでした。・・・ちょうどその日は梅雨明けの暑い日、学生のみなさんはマスクをし、ワクチンの接種に心がけ、副反応に悩まされながらも参加していただきました。

次回の9月17日は、「雑司ヶ谷鬼子母神・大鳥神社」を予定しています。

また教室では「四方山話」を始めました。「ふるさと」をテーマに、8月27日には東北宮城の「南三陸町・戸倉小学校の3・11」のお話をします。サンパール小会議室で、「川嶋あい」の「旅立ちの日に」を聞きながら・・・

伸びる一方の感染者グラフですが、新型コロナといえども、我々の学びたい気持ち・さらなる好奇心を抑えることはできないのです。



(ユリとヒマワリも応援していました)

《《 さよならの数だけ愛・感謝が蘇える その③ 》》

— 愛と感謝をこめて —

原田名誉学長から故後藤八重子様へのお手紙です

名誉学長 原田 治子

後藤八重子様、大変お疲れさまでした。4月8日零時55分に旅立ちをして、黄泉の国までは、長い長い道だったでしょう。シルバー大学の旅行とは違って数十日はかかったと思います。多分5月27日か28日に到着したのではと思っています。

左腕の骨折は癒え、肺も心臓も苦しくなくなり、すっかり若返って、スタスタと足早に歩いている後藤さんを心に描きながら、「ごくろうさま」と声かけをしてきました。

初代理事長 水越清次さん、二代理事長の秋山照子さん、自分史教室の山崎勝義さん、シルバー大学の運営記録をしっかりと遺していった宮沢健一さん、その他多くの方々が、後藤さんを大よろこびで迎えたことでしょう。



シルバー大学の分校は、ずいぶん大きくなっているでしょうね。

こんこんと水面にあふれる湧水、おいしいでしょうね。絶えることのない一面の花畑、小川のやさしいせせらぎ。そこにシルバー大学分校の校舎が純白の大きな大きな姿で建っている。そして、みなさんの居所であり学舎にもなっているのでしょう。もう帰宅することはない。みんな常に一緒にいられる楽園。そこで後藤さんは書道の講師ですか。ぎっしり詰まっている後藤さんの知恵袋は、学校運営にとっても役立つでしょうね。



平成5年4月、自分史教室が開設。この時に出会った後藤さん。ものすごく美人で、頭脳明晰で、優しく、短気で、心にあることは、ばんばん言って…。思い出は尽きません。おいしいお酒を度々飲みましたね。お宅に行って、手料理を様々ご馳走にもなりました。それだけではありません。私の心の支えとなって、どれほど救われていたことか。

感謝・感謝です。ありがとうございました。

お別れしたのではありません。シルバー大学分校で、第二の人生を満喫している後藤さん。そこから時々声かけをして下さいね。「クヨクヨして落ち込まないこと。前を向け」などとね。私も天空にむかって大声で応えます。

(令和3年6月17日)

後藤八重子さんは、昭和60年度に荒川シルバー大学に入学して、36年間学ばれ、令和2年度の閉講式には、100歳の方へ授与される長寿賞を受賞されました。令和3年4月8日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◎平成 25 年に作成されました『昭和の記録』より 2 編掲載致します。

《《 戦争と平和 》》

思い返せば今から 65 年前、田舎育ちの私は、まだ小さかったのですが、防空壕の中で東京が真っ赤に燃える炎が今でも目に焼き付いています。

私の田舎は埼玉県です。利根川と烏川、群馬県と埼玉県の境。忘れもしない、利根川の河原に爆弾が落ち、ガラスが割れんばかりの音で、もうだめかと思う恐怖を感じました。河原でタバコを吸っていた男性がいたそうです。それは、本当かどうか分からなかったけれど、戦争ほど悲惨なものはない。

学校帰りの途中、飛行機の音がするとみんなで麦畑に逃げ込みました。その当時、カバンを背負い自分で作ったゾーリをはいて通った思い出が、昨日のように感じます。

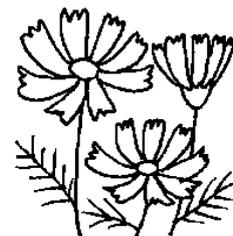
田舎に東京から疎開する方も多く、友達になり東京の話をよく聞かされたものです。

戦争ほど怖いものはない、二度と起こしてはならない。江戸川東京大空襲記念館を、6 年前に見に行き、戦争の怖さ、東京が火の海で隅田川に飛び込んで死んでゆく人の姿を目の当たりに見た気がしました。

現代に生まれてきて本当に良かったなあ…。

今は幸せです、平和であってほしいと願うしかありません。

(平成 22 年 9 月 記 35 班班長 布川 春江)



《《 水筒のキャップ一杯の水 》》

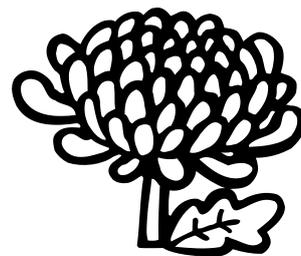
今の日本では、どこのお店に入っても、「いらっしゃいませ」と言って、コップになみなみと冷たい水を出してくれます。思えば今から 60 数年前、大陸よりの引揚者として、日本に向かいました。母は大変な苦勞をしたと思います。

運良く帰国船に乗ることができ、佐世保港に着きましたが、船内でチフスが発生し、1 か月近く下船許可が下りず、食料、水が不足し、私は、夜中に喉が渇き我慢できず、わーわーと騒いだようです。

近くで見ていたおばあさんが見かねて、私に水筒を開けてくれてキャップ一杯の水が届きました。

今でも忘れることができません。「美味しい水とおばあさんの顔」は。この出来事は、ついこの間のことです。

(平成 22 年 9 月 記 荒川地区長 山田 紀子)



9月の行事について

期日	行 事	講師プロフィール
30日 (木)	<u>第三回合同講義</u> 篠の音～大野利加横笛演奏会	大野 利可 国立音大卒：篠笛・能管の尽きない 古典の奥深さを探求。オリジナル曲 の創作も追及中。友笛会代表。
時間：午後2時より 会場：サンパール荒川 3F 小ホール		

○生涯学習センター三階は、新型コロナウイルスワクチン接種会場として10月末日まで延長されました。(三階使用教室は引き続き他会場に移動となります)

○9月1日(水)の常任理事会・役員会の開催時間帯について

午後0時半～1時半：常任理事会、午後1時40分～2時40分：教室代表者会
午後2時50分～3時50分：地区班長会 会場：センター 四階 音楽室

※ 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

8/23 パソコン・英語 8/2 読書心の旅・パソコン 7/25 今と昔の歴史散歩 7/23 社会科見学
7/8 読書心の旅・パソコン 7/2 今と昔の歴史散歩・社会科見学・パソコン
7/1 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより 以上

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (7・8月) ◆◆◆◆◆

<p>7月1日 三役・部長会 7日 常任理事会・講師会 26日 陶芸教室 令和4年度 日程表作成(教室清掃依頼) 31日 ◆社協福祉団体運営助成に 伴う書類作成</p>	<p>8月23日 会場変更による日程表作成 24日 広報委員会 25日 ◆学園祭共催依頼書作成 ◆学園祭区報掲載依頼書作成 27日 シルバーだより 368号作成</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

※事務局だより※

1. 令和3年度学園祭について：期日11月12日(金)～14日(日)に開催予定の学園祭は、新型コロナウイルス感染予防のため、密にならないように入場者人数制限他様々に工夫しての開催となる予定です。
2. 感染症予防を行いながら、熱中症対策も：暑さはまだ続きます。換気しつつこまめにエアコンで温度調節を。また消毒・体温測定など健康管理チェックをしっかりとってお過ごしてください。



(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691 室長：田原